様式第９

<table>
<tr><td colspan="2">議　事　録</td></tr>
<tr><td>会　議　名</td><td>令和８年第２回稲沢警察署協議会（定例会）</td></tr>
<tr><td>日時・場所</td><td>令和８年４月24日（金）午後３時から午後５時30分までの間
稲沢警察署　講堂</td></tr>
<tr><td rowspan="3">出　席　者</td><td>１　委員　８　名（定数 10 名）
室屋　皆子　　会長　　酒井　順子　　副会長
寺澤　惠子　　委員　　久留宮　庸和　委員
小澤　康彦　　委員　　永井　富志雄　委員
熊澤　美里　　委員　　村井　くみえ　委員</td></tr>
<tr><td>２　警察署員　９　名
渡部署長　　青山副署長　　前田警務課長
森　会計課長　　小野生活安全課長　長坂地域課長
酒井刑事課長　　太田交通課長　　細川警備課長</td></tr>
<tr><td>３　有識者等
当署刑事課鑑識課員３名による指紋採取等の演習を実施した。</td></tr>
<tr><td colspan="2">１　委嘱状の交付
署長から新規委員１名に対して、公安委員会からの委嘱状を交付した。
２　署長及び幹部挨拶
３　会長、副会長及び各委員挨拶
４　報告内容
(1) 管内の治安情勢
(2) 前回の意見・要望に対する具体的な施策の推進状況
ア　前回の協議事項
地域住民が交番の活動に期待すること
イ　前回の意見・要望
・　地域住民とのコミュニケーションを大切にし、地域と密着した活動を推進されたい。
・　パトカー以外の方法によるパトロールを行うとともに、積極的な声掛けを実施されたい。
・　資機材を活用した立番や交番相談員の効果的運用により、地域警戒力の強化を図られたい。
ウ　施策推進状況
・　地元住民と接する機会の多い駐在所警察官による地元小学校の入学式の挨拶や交通安全講話、登下校時の見守り活動、及び町内会のイベントにおける広報活動を実施した。
・　稲沢市の玄関口である名鉄国府宮駅等において、犯罪や迷惑行為等が発生しないよう駅員と情報交換を実施し、また、民間と合同で駅駐輪場をパトロールして、無施錠の自転車に対する注意喚起のチラシを</td></tr>
</table>

様式第９（続紙）

貼付して自転車盗対策を行った。
・　人が多く集まるような駅、観光地等についてできる限り徒歩警らを行い、制服を見せるパトロールを実施した。
・　交番勤務員が街頭活動で不在時に、相談員が地理案内、遺失・拾得、安全相談の受理及び交通事故の警察官への取次ぎ等を徹底しているほか、交番での所前立番、下校途中の小学生の見守り活動等、ふれあい活動を実施した。
・　交番勤務員だけでなく、交番相談員についても不審者から突然襲われる場合を想定して常時「防刃衣」を着装し、周囲の警戒活動を実施した。

５　協議事項
多発する犯罪への被害防止対策

６　発言の要旨
・　発生場所や時間だけでなく、犯人の人物像なども防犯対策として住民に伝えてはどうか。（犯人の年齢性別外見など）
・　高齢者などは普段から人との会話する機会が少ないと思われるので、犯人と会話し実際に被害に遭っても気付いていない場合が多いので、独居高齢者に対する防犯対策を強化してはどうか。
・　防犯アプリがあるが、高齢者には実際にインストールするまで指導してほしい。
・　家の電話に頻繁に詐欺電話が着信するので、着信しないような対策も考案することを検討してはどうか。
・　今に限ったことではないが、新たな手口が次々と出てくるので、早め早めの新手口の防犯広報や、犯人の先を行く防犯対策を考案する必要がある。
・　多額被害となる投資詐欺に関する防犯対策を強化してほしい。

７　意見・要望
・　多発する犯罪の手口及び防犯対策について、広報・啓発により市民への周知徹底を推進されたい。
・　市民との連携を強化し、地域住民と取り組む防犯活動を推進されたい。
・　創意工夫を凝らした防犯施策を推進し、市民の防犯意識の向上に向けた新たな取組を推進されたい。

８　その他
次回開催予定
令和８年７月下旬

備考　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。